



Y M C A 地球市民育成プロジェクト 2016 夏期研修

# World YMCA NEWS

## 11月号



## Y M C A 地球市民育成プロジェクト2016夏期研修 (日本 Y M C A 同盟)



Y M C A 地球市民育成プロジェクト2016夏期研修が、8月29日から9月4日まで、Y M C A 東山荘で行われました。

グローバル時代を生きるユース世代の分析力、対話力、行動力を引き出すことをテーマに通年で実施している本プロジェクトのカリキュラムで最も重要な夏期研修に、今年は国内研修生30名、中国、韓国、台湾、香港、カンボジア、東ティモールからのユース14名、高い専門性を持つリソースパーソンと運営スタッフをあわせ総勢約60名が参加しました。

準備していたワークショップやフィールドトリップに加え、今年は東ティモールからの参加者の声を取り入れたケーススタディも行い、「参加する一人ひとりがプロジェクトを作るリソースとなる」というこのプロジェクトの特色が、夏期研修のなかで実現されました。



▲研修の最終日にアクションプランを発表

また、過去の地球市民認証生がチューターとして関わることも、このプロジェクトの特筆すべき点です。今年は3名の認証生の力強いサポートがありました。1週間の研修を終えた研修生は自分の所属する場所で研修中に作成したアクションプランの実行に取りかかります。

杉野 歌子  
日本 Y M C A 同盟  
Y M C A 地球市民育成プロジェクト事務局



▲カルチャーナイトで文化交流

## チェンジ・エージェント グローバルギャザリング (世界YMCA同盟)



8月22日から31日まで、60カ国から100人以上の世界YMCA同盟チェンジ・エージェントが、タイのチェンマイに集まって行われたグローバルギャザリング。各国の代表として選

☆ハイライトの動画はこちらからご覧ください ⇒ <https://www.youtube.com/watch?v=vSSzTAUVo4o&feature=youtu.be>

ばれ、2015年より2年間の活動を通して「所属するコミュニティの課題に対して変革を起こす」ことを託された若者たちが、それぞれのプランを持ち寄り、社会の課題についてのディスカッションを重ね、思いを共有しました。それらには、不正義への怒りや、深い信仰への気付きなどが含まれています。日本からのチェンジ・エージェントは6人。彼らの2年間の任期は今年の12月に終了しますが、YMCAや社会へのインパクトは今後も長く続くことを期待しています。

(世界YMCA同盟 ホームページより)

## 東ティモールYMCA訪問記 (アジア・太平洋YMCA同盟)



アジア・太平洋YMCA同盟のコーディネーターに着任したわたしは、最初の業務として、7月19日から26日まで東ティモールYMCAを訪問しました。

東ティモールYMCAは首都デリリにあります。中には、事務室、会議室のほか、子ども向けプログラムやイベントのためのスペースがありました。到着すると、総主事シルバ氏とスタッフに温かく迎えられました。韓国人のボランティアであるリーさんにも会いました。リーさんは子ども向けのプログラムで図工、音楽、読み聞かせ、ゲームを担当しています。シルバ氏や財務スタッフのラバト氏とプログラムの実現、他の団体とのネットワークの構築、さらに活動の継続のためのアイデアを共有し、意見を述べ合いました。

東ティモールYMCAは、主要なプログラムが2つあります。サッカーのプログラムと子どものためのプログラムです。サッカーは東ティモールで人気があるスポーツで、このプログラムには若者が参加します。YMCAは選抜メンバーのトレーニングや「YMCAカップ」として親善試合を実施し、国内リーグに参加しています。サッカーのゲームは個人の能力を高める場であることは言うまでもありません。さらに積極的な気持ちを持つ若者をエンパワメントするものです。一方、子どものためのプログラムは読み書きの力や芸術への関心を育みます。毎日20~25人の子どもたちのためのプログラムを2つ実施しています。女性のための裁縫のクラスは資金不足のため休止中ですが、再開が待たれています。

今回の8日間の訪問によって、東ティモールYMCAが直面している課題を理解することができました。今は、海外



のYMCAからのサポートによって運営している東ティモールYMCAですが、スタッフや会員が協力し合うことで、数年後には自分たちの力で活動を進めることを目指しています。

テルマ P. ジャンテリアル  
アジア・太平洋YMCA同盟  
コーディネーター

(APAY e-News September 2016 より)